

## Title: 「Back home」



中村 創太  
1979年生まれ、三十路です。帰って来てから10キロ弱太りました・・・

## ● 最近のエントリー

- ☒ [尻切れ蜻蛉の行き先は、](#)  
(2008.06.29)
- ☒ [尻切れ蜻蛉、その三](#)  
(2008.06.29)
- ☒ [尻切れ蜻蛉、その二](#)  
(2008.06.29)
- ☒ [尻切れ蜻蛉、その一 \(6月28日・ネパール、カトマンズ\)](#)  
(2008.06.29)

## ● アーカイブ

- ☒ [2009年12月](#)
- ☒ [2009年11月](#)
- ☒ [2008年09月](#)
- ☒ [2008年08月](#)
- ☒ [2008年07月](#)
- ☒ [2008年06月](#)
- ☒ [2008年05月](#)
- ☒ [2008年04月](#)
- ☒ [2008年03月](#)

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

[Back Home](#) > 2008年06月 [アーカイブ](#)

08.06.29

## 尻切れ蜻蛉の行き先は、

[Tweet](#)

[Check](#)

まあそういうわけで、  
6月25日、無事に再びデリーに戻り、  
クラスメートとも合流を果たし、  
昨日の昼にネパールに入国しました。  
やっとのんびり落ち着いてブログを更新出来る環境になり、  
やっとインドの事を振り返る余裕ができました。

結論でいうと僕はインドに惨敗しました。  
今までの国の中でも極端に、  
予定通りに行動が出来ず、  
勿論撮影は上手く行かず、  
デリーへ向かう最後の列車でとうとう熱を出す始末。  
正直何度か「日本に帰ってえ」とも考えました(笑)  
ただ写真を撮りに来ただけのつもりでも、  
この国には僕を「金持日本人」としか思ってくれない人間もいて、  
僕がただの写真の学生でしかないといっても、  
この国には真剣に僕のしている事の意味を考えてくれる人間もいました。  
「この国はでかすぎる」

それだけが確かな事で、  
僕にとっての善悪なんて所詮自分だけのもので、  
このでかすぎる国に向かって、  
小さな島国の人間が3週間程度居ただけでは言える事なんてほとんどなくて、  
だからといって僕にとってはやらなくてはならない事をやるという事が今の全てなので、  
その決して小さくはないわがままを遂げる為に、  
もう1度この国の中で戦えたらなと思っています。  
出来れば近いうちに。

まあとりあえず今は中国で戦う準備をする方が先ですか。

ああ、あと髪の毛のブログはもうやめます、飽きたので。  
どうも済みません・・・

カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.29 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年06月 [アーカイブ](#)

## 尻切れ蜻蛉、その三

[Tweet](#)

[Check](#)



6月19日。  
ヴァラナシの撮影をした次の日、  
そこから列車で3時間のアラハバードという街へ移動。  
3本の大河が一つの河になる場所で神の住む聖地とされていますが、  
自分は河を見に行く余裕はありませんでした。

その時の1番の心配事は箱の中で完全にこっぴついてしまった31枚のフィルムではなく、  
無駄な散財のせいで現金が底をつき始めた事でした。  
結局アラハバードには3泊しましたが最初の2日は現金をおろす為に日本に居る家族と連絡を取り  
たがってました。

なんとか昇級し、  
何とかクレジット会社に限度額を上げてもらえるようになり、  
ようやく最後の1日だけ、少し撮影を行う事が出来ました。

撮影自体スクールに降られてなかなか上手くいかなかったんですが、  
雨宿りをさせてくれた専門学校の先生が親切で、  
お茶を頂きながら少しだけ話をしました。  
とはいつてもこちらの英語がぶっ壊れてますので、  
「広島と長崎について」とか  
「日本人から見てこの国はどう見える？」  
と難しい事を聞かれても、  
「広島も長崎も今は大都市だ。」とか  
「良い奴が沢山居るけど、悪い奴にも沢山会った。インドは極端だと思う。」  
などそんな馬鹿みたいな事しか言えませんでした。  
「原爆なんて逃るべきじゃない」とか、  
日本に住む人間として言える事は腐るほどあったはずなのに。

6月22日、アラハバードからデリー方向へ鉄道で移動して、  
「バレリー」という今まで一度も名前を聞いた事の無い街へ。  
列車の窓から見て面白そうだったのでとりあえず降りてみたんですが、  
予想とは少し違ってなかなか賑やかな都会でした。  
日本で言うと東京の郊外という雰囲気でしょうか？



そこでは金の余裕もできた分、腰を落ち着けてロケハン、撮影を行いました。  
「やっとか！」という感じで・・・。  
インド最後の撮影場所は最初のコルカタに着いた時から何となく気になっていた、彼らの言う所の「exhibition」でした。  
最後の日に街を歩いていると空に観覧車が見えたので、  
方向だけを頼りに行ってみると、  
空き地の上に浅草の花屋敷にあるような観覧車やジェットコースターが建っていて、  
その周りに露店やマジックショーのテントが並んでいる様は、  
博覧会というよりは「即席アミューズメントパークもしくはデパートの屋上」です。



そこの人々もかなり親切で快く自分を迎えてくれました。  
「だからそこに立ってたら見えねえって言ってんだろ？」  
などと笑いながら撮影をして、皆な手を振って見送ってくれて、  
おかげで『とりあえずはこれでインドも終わりだな』と、  
ほんの一時、ほっとする事が出来ました。

しんどい事ばかりだったけど、良い人間に沢山出会えた事も事実で、  
この国に来る前と今の自分が少し違うのも事実だろうと思います。

カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.29 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年06月 アーカイブ

## 尻切れ蜻蛉、その二

[Tweet](#)

[Check](#)

・・・そういうわけで、  
6月17日の朝、因らずも引率の川崎先生と3名のクラスメートが滞在中のヴァラナシに到着。  
旅行会社が予約してくれた3等エアコンという寝台車がなかなか快適な上、  
隣の席のインド人のデザイナーをしているという親子も親切だったので、

そこでじっくりと撮影をしてぐっすりと眠る事も出来、  
疲れも無くホテルのチェックインを済ませて、一週間振りの撮影の為にロケハンへ。



相変わらずふらふらと街の中をうろついて、  
気がいたら自分が今地図上のどこに居るのか分からなかったりして、  
午前中は汗だくになってましたが、  
夕方には他のヴァラナシ組（大佐、銭場、高橋）に誘われて観光ボートに乗ってました。

次の日、ずっと閉まわれっぱなしだった4×5のカメラを担いで撮影へ。  
途中で結局道に迷って、おそらく観光マップ上の南の端に辿り着きました。

たまたま良い場所を見つけて、



写真屋の兄ちゃんをお願いしたら、  
快く屋上に登らせてくれて、

その後、空き地をぼけっと眺めていたら地元人に囲まれて、



撮りたくもない寺院を撮らされ、



帰ろうと思って一本道を歩いていたら、いつの間にか隣の駅に辿り着き、  
仕方が無いから線路沿いの道でも2回ほど人に囲まれてみました。

一日でいろんな奴と話をしたり、  
金をせがむ子供のほったをつねって  
お互いにニヤリと笑ってみたり、  
カメラを片付けた後は見ていた人と握手が合掌をして、  
ようやくホテルの部屋に戻れて『あー、疲れた！』と言える事が、  
やっぱり最高です。

・ ・ ・しかしその日の夜、  
そうやって撮影したフィルムをフィルムの箱へ戻そうとした時の事、  
『何かこの箱の中のフィルム、くっつき始めてねえか？』

## 尻切れ蜻蛉、その一 (6月28日・ネパール、カトマンズ)

[Tweet](#)

[Check](#)

一体何から話せば良いのやら・・・。  
とりあえず一番重要な事から言うと、  
肉体的にも、  
精神的にも、  
現在問題なくピンピンしております。  
心配して下さった皆様、本当に申し訳ありませんでした。  
結局一度もブログをあげられないままネパールに到着してしまい、『今更か』という感否めませんが、このまま何の説明もしないのは失礼な話ですので、とりあえずインドでの撮影結果ついて、前回の続きから順番を追って説明させていただきます。

6月12日、自分はコルカタのハウラー駅から北に向かう寝台列車で夕方に出発し、翌朝の7時に目的地であるダーージリンに向かう列車『世界遺産・ダーージリンヒマラヤ鉄道』の出発駅であるニュー・ジャリバイグリという駅に到着しました。  
当然寝不足でしたが、勢いだけでそのままダーージリンまで行ってしまおうと、駅で切符売り場を探す事10分。

やっと相手をしてくれそうな職員を見つけて、  
「ダーージリンに行きたいんですが？」  
苦い顔をする若い職員。  
「事務所へ行ってみる」と言われて、  
込み合っていた事務所が空いたのを見ておじさんにもう一度、  
「ダーージリンに行きたいんですが？」というと、  
おじさんは即答で  
「No!! Darjeeling strike!!」  
「・・・、ストライキ？」  
もう一度隙を見計らって、  
「鉄道以外で行く方法は？」  
「No!!」  
・・・。

近くにネットカフェも無く、その時点で詳しい事はさっぱり分かりませんでした。『行けない』事が確かである事は理解しました。

重たいだけで出番を失った荷物を持ったまま呆然、  
としているのも馬鹿らしいので、仕方なく朝1番でホテル探し。  
駅前で見合ったタクシヤのじいさん（その後色々やらせて当然割り増し）に連れて行かれるままに適当にホテルへチェックイン。  
その後、町の旅行会社へ直行してコルカタへ引き返す為の飛行機のチケットを予約。



外は土砂降り、部屋に引きこもって一応1時間弱落ち込んで、  
やっと眠気が襲ってくれたのでさっさと寝て、  
次の日の夜には2度目のコルカタ空港へ到着しました。

この時点で6月14日、撮影の為に使える日数はあと10日。  
そう考えると全体集合地のデリー近辺で撮影をするのが妥当だろうと考え、  
6月15日昼、空路で無駄な交通費だけをどどんかさませながら首都デリーへ到着。  
デリーのホテルへチェックイン後、鉄道の予約へ。



旅行会社で無理を言って、明日ここから一日で行ける場所までの切符をお願いすると、  
「今から君に用意出来るのはヴァラナシ行きの夜行列車の切符だけだ」との事。  
「ん？また東へ戻るの俺？」

08.06.11

## 雨の街(6月11日・コルカタ)

[Tweet](#)

[Check](#)

『好き嫌いに関わらず戦うべき時には戦わなければならない』  
出発前に何となく思いついただけだったその言葉は、  
このとんでもない国の、このとんでもない街で、  
確かな形をして僕の前にやってきました。



『何でわざわざ好き好んで一人でこんな街に來ちまったんだ?』と、  
始めの2、3日はそんな事ばかり考えてました。  
ここに來てから何も起こらなかった日など  
はきり言っって一日たりともありませんでした。  
『金持ち日本人の観光客』でしかない僕は、  
最初から『カモ』としてしか見られてなくて、  
1対1での会話なんてほとんど何の意味も持たないんだと、  
信じたくなくても結局そう考えざるを得ないような毎日でした。



正直さっさとこの疲れる街から離れたい気持ちでいっぱいでしたが、  
写真だけはとりあえず何とか撮ってました。  
勿論、順調に予定通り上手くやれている訳が無く、休養日であるはずの今日も雨の止んだ昼過ぎ  
にコルカタでのラスト1カットの撮影に出かけてきました。





なんでこんなふざけた街に居るのか？  
『ただ写真を撮る為だけに。』  
それだけが僕にとっては唯一確かな事で、  
今更ながら、  
『戦うという事が日々の中で試され続ける自分の意志を守り抜く事』  
なんだと気が付きました。



街中に三脚をドンッ！！と置けば、  
何だか自然と自分のベースを取り戻して、  
数は倍になっているけれど、後ろに人だかりが出来るのは今までの国と同じで、  
不思議がって話しかけて来るおっさんがいるのも今までと同じで、  
皆で上下左右逆さまのファインダーを覗いて喜んでいるのも  
やっぱり今までと同じで、  
カプリの中で子供達がルーベを掴んでじゃれているのだけは初めてでしたが、  
撮影が終わるまで見守っていた人たちが、  
手を振って見送ってくれる笑顔も、  
今までと同じでした。  
そうやって撮影を終えた後、宿へ帰る道すがら見た人々の顔は、  
ちゃんと一人一人違いました。



多分これからも不意打ちを食らって、上手くいかないことばかりでしょうが、  
この国を出る日まではやれるだけやってみます。  
明日の夕方にはコルカタを鉄道で出発して、明後日の夕方とうらダージリン到着の予定です。

カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

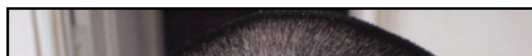
[Back Home](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.09

1WEEK

[Tweet](#)

[Check](#)





post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.09 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[Back Home](#) > 2008年06月 [アーカイブ](#)

08.06.06

たぶん気合いだな。(6月6日・チェンナイ)

[Tweet](#)

[Check](#)



昨日の朝マレーシアKL国際空港を出て、ついにインド上陸を果たしました。





日本との時差はマイナス3時間半です。  
昨日は移動の為に寝不足とマラリヤ予防薬の副作用にやられてダウンして、  
今日は昼前に出かけ、明日のコルカタ行き航空券購入兼、インド馴れする為の街歩き、  
とはいっても写真はあんまり撮ってきてません・・・。  
『当たり前』に驚きすぎて風景を楽しむ余裕がまだ持てないので。  
街中にあった温度計では気温は36度強だそうです。  
立ち止まるのが嫌で煙草も吸いたくありません。  
一日中歩いたらきつと倒れます。  
それでも今後を考えたら、涼しい方なんじゃないかなこれ？  
結局4時間歩いてあっという間にホテルに戻ってきました。



自分は明日の夕方にチェンナイからコルカタへ飛んでその後、更に北のダージリンを目指します。  
今から撮影するのが楽しみな反面、こんな国で4x5のカメラを立てたらどうなっちゃうんだろうとドキドキしています。  
とりあえずこの後もう一度、羽立先輩のブログを見て予習します・・・。

カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.06 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年06月 アーカイブ

## DAY 3

[Tweet](#)

[Check](#)



カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.06 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

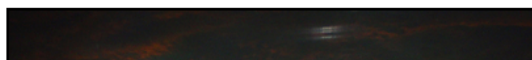
[Back Home](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.03

## 掌の上(6月3日・ペタリンジャヤ)

[Tweet](#)

[Check](#)







どうもすいません。

1ヶ月ぶりのブログになります。

タイまでの撮影旅行がスプリントとインターバルの連続だとしたら、

この1ヶ月は持久走でした。

『あ〜、今日も疲れたなー!!』というよりは、

『ああ、今日もしんどいなあ・・・』というような・・・

タイからマレーシアへ入国時の鉄道事故が始まった1か月。

一日遅れてスクーリング施設に着いた当日からグループ写真展の準備を始めて、4日目に開催、翌日撤収。



その翌日から5日間連続で4x5、35mmのモノクロフィルムの現像、

(長坂先生と羽立さん、個人的にはあの個室暗室、結構好きです。)

撮った分の半分しか現像し切れないまま、

鈴木、飯塚両先生ご到着(相変わらずお元気そうで何よりでした)。

個人のスクーリングを後回しにしてもらってスクーリング初日は朝までプリンターマシンと化し、

2日目は撮影場の欠点、4日目には今まで触れずにおいた人間の欠陥にも気付かされ、

あっという間に第一回スクーリング終了。

3日の休養期間(裏が滑りまくるビーサン代わりに新しいサンダルを買ったり、後々まで残る嫌がらせの為に体重計を買ったり、バリカンで頭を刈ってもらったり)を挟んでオリンパス様での写真展開催のためシンガポールへ。

シンガポールは東京よりもずっと都会でした。

ローさんやショーンを始め、シンガポールオリンパスで出会った皆様、温かく向かえて頂きありがとうございました。



日本からわざわざお越しください、ご尽力頂いたオリンパス松崎様、いつも大変力強いサポートをして下さるウォン先輩、伊藤愛先生、ありがとうございました。



6月1日にマレーシアに戻って来て、5日にはとうとうインドへ出発です。

正直めまぐるし過ぎてまだまだ振り返る気にはなれませんが、  
そしてもう一回散髪しようとしたら失敗して結局髪の毛がなくなりまして・・・、  
上手くリスタート出来るのかと不安になったりもしますが、

僕はやっほりこれからも旅を楽しむつもりです。

カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

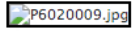
[Back Home](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.02

DAY 0

[Tweet](#)

[Check](#)



カテゴリ：

post by 中村 創太 | 日時: 2008.06.02 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)